

9/26

みわTMRセンター

みわTMRセンター 統合工事 着工前に安全祈願



(岩竹組合長の鎌入れ)

出席者らは、岩竹組合長の鎌入れに続き、工事関係者の鍬入れ、玉串奉奠など工事の安全祈願を行った。

式次第に沿って、厳かに執り行われた。
③ 献饌(けんせん)、④ 祝詞奏上(のりとそうじょう)、⑤ 清祓(きよはらい)の儀、⑥ 鍬入の儀、⑦ 玉串奉奠(たまぐしほうてん)、⑧ 撤饌(てっせん)、⑨ 昇神(しょうしん)の式次第に沿って、厳かに執り行われた。



(宮司によって進められた神事の様子)

岩竹重城組合長は、みわ・庄原両TMRセンターを、みわTMRセンターに統合整備する工事着工を前に、工事の安全と円滑な工事進行を願い、地神祭を開催した。

神事は、地元・御霊神社宮司・長尾治文氏によって、
① 修祓(しゅぼつ)、② 降神、

○今月の表紙

▼今回の表紙写真は、九月十五日、大雨の後晴れ、夕暮れ風景を庄原市七塚町の高台でショットしました。

▼写真前面は梨園の霜よけ扇風機、その向こうの夕暮れの構図であり、「なによ、この写真」と思われたかも知れません。

▼夕暮れ前の同日午後六時頃には、めったに目にする事が出来ない東西にかかる二本の虹の架け橋の美しさに魅了されましたが、事情あって、このショットが出来なかったことが少々心残りとなっています。

▼素晴らしい虹が出た後の写真と思ってお許し下さい。

▼この虹に三次・庄原近郊の多くの人たちの多くが気づき、口を大きく開けてしばらく空を見上げられたのでは無いでしょうか。
▼毎年九月から十月は台風が発生し日本列島を襲うこともしばしばです。

▼最近では、気圧の変化から竜巻

も発生し、人間生活を脅かしており、テレビや新聞では生々しい被害状況が報道されています。

▼「天災」にちなみでは、物理学者で文学者の寺田寅彦の「天災は忘れた頃にやってくる」の言葉が思い出されます。

▼いつ発生するか分からない天災に備えて、平素から用心を怠らないようにしたいものです。

▼激しい大雨もあがり、静けさとともに天空を橙色に染める夕焼けの美しさは、人の心を和ませてくれます。

▼人間生活に合わせて考えるならば「厳しさ」と優しさ」を表しているのでしょうか。

▼写真撮影日は、九月十五日。この日は、職場後輩の結婚披露宴からの帰路にて偶然遭遇しましたが、この情景は、あたかも結婚されたご両人の門出を応援しているかのように感じました。
▼改めて、ご両人の門出を役職員一同揃って心から祝福します。どうぞお幸せに・・・。

(撮影 A・N)